

ダイオキシン汚染 川底調査手引書



国土交通省は、川底の土砂(底質)にたまったダイオキシン類の汚染度合いの調査を効率化するため、民間から公募した簡易測定技術をもとに調査方法の新たなマニュアルを策定することです。

これは、国が定めた公定法を用いて底質中のダイオキシン類調査を行うと、一試料で最大一ヶ月、費用が15~20万円かかるため、毎年実施する定期的な底質調査では、公定法を使用し、汚染が見つかった場合の範囲確定に用いる詳細調査において簡易的な方法を用い、労力やコストダウンをすべきと国土交通省が判断したためです。

今後の流れとしては、一月上旬に国土交通省の検討会で公募技術の事前審査を行い、応募者に汚染底質を渡し、約四週間以内で分析作業の結果報告を受けます。この結果をまとめた上で、三月の最終審査で適当と判断された簡易測定法に対して、マニュアルの素案を作成します。

資料: 2003年12月25日付 日本工業新聞 P.7

クロマト研究箇所 山田 悠貴

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

